

○ 委員長報告

2月定例本会議で報告された総務企画委員長報告は、以下のとおりです。

令和7年2月定例会

総務企画委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、新第二別館における新しい働き方についてであります。

このことについて一部の委員から、どのような働き方を導入しようとしているのか。また、固定席を持たないフリーアドレスにするのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、新庁舎では、職員自身が仕事の内容や目的に応じて執務場所を選択できる働き方を導入することとし、レイアウト変更が容易な可搬式什器のほか、複数人で使用可能なテーブル席やソファ席、完全個室タイプのブース等を整備することとしている。これにより、チームワークの向上や業務効率化を図るとともに、生産性の向上を促進し、効果的な政策立案とその展開による課題解決の実現を目指している。

また、フリーアドレスについては、すべての部署での一斉導入には運用上の課題もあることから、各課の状況に応じて、係やグループ単位での導入等を想定している旨の答弁がありました。

第2点は、えひめ版政策エコシステムの推進についてであります。

このことについて一部の委員から、既存の官民共創の取組みとどう違うのか。また、どのような状態を目指して取り組んでいくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、人口減少や人々の価値観の変化、デジタル技術の進化にしっかり対応し、実効性のある政策を立案するため、政策エコシステムでは、実施段階からの官民連携ではなく企画段階から様々な主体が参画し、現場の状況も把握しながら自由闊達な意見交換をする中で、具体的かつ効果的な愛媛オリジナルの政策を創り上げ、実行する仕組みとしたい。

来年度は、本県の強みを大いに発揮できる「食・観光・農林漁業」の分野をテーマに、意欲の高い実践者として、1次産業・外食産業・観光事業者・学識経験者等に広く参加いただき、様々な方面から現場起点のアイデアを集め、政策を創り上げていきたい旨の答弁がありました。

第3点は、若者を対象とした人口減少対策についてであります。

このことについて一部の委員から、えひめ若者応援パスポートの概要はどうか。また、本事業の実効性を高めるためには、他部局との連携が重要と考えるがどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、同パスポートは、本県の転出超過の大半を占める高校生、大学生等をターゲットとしたメールマガジンで、「都会へのあこがれ」の動向を把握しながら、ニーズに即した情報を発信することで、転出抑制やUターン促進につなげることであり、就職を機に県外に転出する若者、年間約5,000人の2割にあたる1,000人の登録を目標としている。

また、他部局が来年度実施を予定している若者を対象とした事業について情報収集するなど準備を進めており、情報発信にあたっては、関係部局と緊密に連携のうえ、戦略的に取り組んでいきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ 公文書センター設置に向けた取組状況
- ・ 参議院議員選挙費
- ・ 私学振興施策の他部局事業との連携
- ・ 新モビリティサービス導入促進事業
- ・ 電子契約

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願1件については、願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。